

天皇皇后両陛下とスウェーデン国王夫妻
「手がき鯉のぼり」「江戸木目込人形」製作実演を見学

川越市立美術館

天皇皇后両陛下は三月二十八日(水)、国賓として来日したスウェーデンのグスタフ国王夫妻とともに埼玉県川越市を訪れ、川越市立美術館で、埼玉県指定伝統的手工芸品の製作実演を見学された。

実演が行われたのは「手がき鯉のぼり」「江戸木目込人形」「春日部桐箆筒」「小川和紙」の四品。「手がき鯉のぼり」は金引きの



「手がき鯉のぼり」では金引きの工程を見学

工程を橋本勝氏が、「江戸木目込人形」は盛上胡粉に金箔を貼る工程を有松寿一氏が実演、説明補助を橋本隆氏、戸塚隆氏が行った。約二十分の間、伝統の技をご覧になり、両陛下は「手がき鯉のぼりはこうやってでき上がっていくんですね」、「以前(岩槻で人形の)頭づくりを見ましたね」などと声を掛けられたという。



実演を行った「手がき鯉のぼり」「江戸木目込人形」「春日部桐箆筒」「小川和紙」、埼玉県の関係者各氏

厚生労働省で
鯉のぼり掲揚式を開催

日本鯉のぼり協会

毎年恒例の鯉のぼり掲揚式が四月二十三日(月)、東京都千代田区霞ヶ関の厚生労働省正面玄関において開催された。これは、昭和二十二年から行われている「児童福祉週間(五月五日から十一日まで)」の普及と啓発を目的とした行事の一環として実施されており、平成十九年の今年は制定六十周年を迎える。

式典には、武見敬三厚生労働副大臣を始め、渡辺要市日本鯉のぼり協会会長、大相撲三月場所優勝力士の大関・白鵬関、大田区の保育園児八十名の来賓のほ



か多数が出席。本年の「児童福祉週間」の標語は、約五千通の応募から最優秀作に選ばれた沖縄県の小学六年生、松堂一成君の作品「見つけよう みんながもってる いいところ」に決定し、式典で表彰された。全員で鯉のぼりを掲揚したあと、お土産の小型鯉のぼり配布、園児たちの合唱と記念撮影が行われ、雨天のひとときの晴れ間に、和やかにすべてが終了した。

▼左端から武見副大臣、白鵬関、標語受賞者の松堂君、渡辺会長



五月人形、鯉のぼりを 保育園などに寄贈

大阪府人形問屋協同組合

大阪府人形問屋協同組合（山本茂理事長）は大阪府、大阪府を通じて五月人形を寄贈、その贈呈式が四月二十日（金）、大阪府庁知事公館と大阪府庁市長室で行われた。

同組合では、子供たちの情操教育と日本の伝統を伝える一助にと、昭和三十年代より三月にはひな人形、五月には五月人形を大阪府、市の関係施設などに寄贈している。今年も吹田市の



大阪府庁での贈呈式では、寄贈先のもみの木保育園の園児たちがお礼の合唱を披露した

道頓堀川沿いの「とんぼりリバーウォーク」で鯉のぼりを掲揚



もみの木保育園と大阪府の大念仏乳児院に、鎧三段飾り一式や鯉のぼりなどが贈られた。

また同組合は、平成十六年に開通した道頓堀川遊歩道「とんぼりリバーウォーク」で、『第二回夢・元氣。こども鯉のぼり2007』を共催（主催／とんぼりリバーウォークの会）。

同イベントはミナミ地区の活性化、安全安心な家族ぐるみで楽しめる場所の構築を目指して昨年より開催されている。四月二十一（土）日のオープニングセレモニーでは、同組合が寄贈した一・五（三）mの鯉のぼり四七セットがNew OSK日本歌劇団の団員と市内の南幼稚園の園児たちによって掲揚された。イベントは五月末日まで行われ、鯉のぼりは期間中、ミナミの上空を遊泳する。

伝統的工芸品「江戸節句人形」認定記念祝賀会を開催 関連の委員会、合同工芸士会を発足

東京都雛人形工業協同組合

東京都雛人形工業協同組合（柿沼正志理事長）は四月二十四日（火）、東京都台東区の上野精養軒で伝統的工芸品「江戸節句人形」認定記念祝賀会を開催した。

今年三月九日（金）、東京都内十二区と埼玉県内四市で製造される三・五月の節句人形、風俗人形、



四年越しの申請活動が実ったことを祝い、多数の来賓を迎えて行われた「江戸節句人形」認定記念祝賀会。東京都ひな人形卸商協同組合山田理事長の音頭で乾杯



祝賀会では故・高野光由前理事長への黙祷の後、柿沼理事長が「今後、この認定を生かせるよう更に努力していきたいので協力をお願いし

市松人形などの江戸衣裳着人形及び江戸甲冑が「江戸節句人形」として国の定める伝統的工芸品に指定された。同組合は平成十五年より組合内での協議、東京都や関東経済産業局とのミーティングを重ねるなど約四年に渡り、申請活動を行ってきた。

当日は祝賀会に先立ち、組合員を対象に認定説明会が開かれ、これまでの経過報告、「江戸節句人形」の規定の説明のほか、今後の運営方針についても協議され、振興計画の作成や表示事業実施のための各委員会の設置などが決まった。併せて同組合合同工芸士会の設立総会も行われ、組合内の国・都認定工芸士二十五名を会員とし、発足が決定、会長に柿沼氏が承認された。



▲「江戸節句人形」説明会。松崎光正伝産準備委員長が認定の詳細を説明

▶東京都雛人形工業協同組合合同工芸士会が発足。会長に柿沼正志氏が承認された

「ISO9001」を取得

徳永こいのぼり



認定書を受ける徳永こいのぼり社長

（株）徳永こいのぼりは、四月五日（木）、品質マネジメントの国際規格「ISO9001」を取得。認証式は、東京・港区の登録業務会社BSIマネジメントシステムジャパン（株）にて行われ、人形業界では初の認証となった。同社は、顧客の要望にこたえるべく品質の向上を目指し「ISO9001」を導入。「自社のシステム構築に半年以上取り組み経費もかかったが、よい先行投資になった。品質の明確な判断基準や組織づくりができ、社

員も働きやすくなったと思う。今後は、これを顧客サービスに反映させていきたい。また、業界全体の向上にも役立てたい」と同社社長。

近年は、「歴史的建造物並びに文化財美術工芸の修理及び再生」の範囲で仏像製作、寺社の修復など日本文化の継承関係にも同規格が導入され始めている。

■ISOとは？

国際標準化機構（International Organization for Standardization）。工業標準の策定を目的とする国際機関。現在、140ヶ国以上の加盟国が参加。

■ISO9001とは？

ISOにて、1987年に制定された品質管理システムの国際規格。製品ではなく、品質管理体制を規定。製品（サービスを含む）を顧客へ提供する上で関連する購買や資源・製造・作業者などを管理する仕組み（品質方針の策定、業務内容を文書化して明確化、管理すべき内容を記録・管理、運用システムを定期的に確認など）を規格。

■認証登録のメリット

・従業員の責任、義務、品質に対する意識・顧客の満足感・利益率の向上・コスト削減・時間と資源の有効利用・意思の疎通、やる気、勤労意欲・均質な製品やサービスの実現・市場参入の機会の拡大などが期待されている。

首相官邸に

「鎧飾り」と「鯉のぼり」

四月十二日（木）から五月五日（金）までの約三週間、首相官邸の玄関前に「鯉のぼり」（6m）と正面玄関ホールに「鎧飾り」（間口150cm×高さ200cm）



▶「緋緘大鎧」と「破魔弓」



（取材協力：（株）マル武人形）

昨年、設置された鯉のぼりの専用ポールに掲揚された五匹の「鯉のぼり」

が飾られた。

これは、三月のおひなさまの展示に続き、首相官邸を訪れる多くの人々に、日本の美しい伝統行事である「端午の節句飾り」をご覧いただきたいと、（社）日本人形協会が要望し実現したものだ。

今年、「鎧飾り」のほか新たに「破魔弓」が飾られ、より華やかな展示となり、官邸に訪れた海外の要人を始めとするさまざまな訪問者の目を楽しました。

また、昨年から、官邸の中庭に鯉のぼり専用のポールが設置され、「鯉のぼり」の掲揚は、今年で三回目。本年も真鯉、緋鯉に青・緑・橙の五匹の鯉のぼりが、首相官邸前に泳ぐことになった。